

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 29 [2017] 年度 第 4 回 議事録

担当：峯岸邦夫

日 時	平成 29 [2017] 年 11 月 6 日 (月) 14:30-17:15	場 所	地盤工学会中会議室
-----	-----------------------------------------	-----	-----------

出席者	資料 番号	配 付 資 料
部長* 仙頭 紀明 ○	29.4.0	平成 29 年度 [2017 年度] 第 3 回基準部会議事録 (案)
理事* 堀越 研一 ○	29.4.1	平成 30 (2018) 年度事業計画、予算
幹事 峯岸 邦夫 ○	29.4.2	予算執行状況、書籍売上・在庫数
部員 浅田 素之 ○	29.4.3	見積書、刊行物予算状況
部員 伊貝 聡司 ○	29.4.4	翻訳出版依頼メール、刊行物の翻訳出版申請に関する取り扱い要領
部員 海野 寿康 ○	29.4.5	「事業企画賞」(第 20 回)についての候補案選出依頼について」他
部員 小早川博亮 ○	29.4.6	JIS 規格素案 (改正 3 件) 1217, 1218, 1227
部員 肴倉 宏史 ×	29.4.7	低透水材料の透水試験方法 (案)
部員 佐藤 毅 ×	29.4.8	地下水調査に用いる井戸理論式の整理及び解説 (目次) 他
部員 武政 学 ○	29.4.9	地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法 (案)
部員* 中村 貴久 ×	29.4.10	水圧破砕法による初期地圧の測定方法 (案)
部員* 平井 貴雄 ○	29.4.11	WG3 グラウンドアンカーWG 活動再開趣意書
部員 藤原 照幸 ×	29.4.12	理事会議事録 (2017/9/29)、書面会議議題書 (2017/10/27)
部員 宗像 保男 ○	29.4.13	ISO 国内委員会 国際会議派遣報告
部員* 吉田 敬 ○	29.4.14	基準書についての問合せフォーム
※ 中川 直 ×	29.4.15	会員からの質問と回答
※ (英訳 委員長) 竹下 祐二 ×	29.4.16	技能試験実施委員会 検証 WG 議事メモ
※ (副会 長) 古関 潤一 ○	29.4.17	地盤環境スクリーニングに関する ISO に関する JIS 原案作成公募制度への応募 (その 2)
事務局 齋藤/長尾 ○		

※オブザーバー

* : 本年度新任

○ : 出席

☆ : 出席 (電子会議)

◎ : 代理出席

× : 欠席

審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料—29.4.0, pp.1-5)
一部修正箇所 (p.2 下から2行目 WG4→WG2、p.4(9)WEG→WEB) の指摘があり、修正後承認された。
2. 全体関係
 - (1) 平成30〔2018〕年度 第一次予算、2017年度決算見込 (資料—29.4.1, pp.7-22)
仙頭基準部長より資料に基づき事業方針、事業計画案について説明があり、一次案は10/27に提出済みであるが、各委員会、WGにおいて内容確認を行い、修正等がある場合は11/13までに基準部長へ申し出ることになった。また、予算案については、1回あたりの単価×開催回数で委員会費を計上していること、最終的な収支差を約700百万円(H29比300万減)の黒字で計上して提出したが、この後総務部との折衝があるとのことであった。
 - (2) 予算執行状況、書籍売上・在庫数 (資料—29.4.2, pp.23-25)
齊藤事務局より資料に基づき説明があり、各委員会費は現段階で40%程度執行しており順調である。ただし基準部会費が100%を越えているが、その理由として、予算が3回のみで開催で計上してあったためである。規格基準の審議等の重要な案件が今後も予定されており、様々な案件の進捗に支障をきたす恐れもあるため、部会には必要に応じて開催することとする。また、書籍の売上げ、在庫状況についても確認された。
 - 【理事会報告】(3) 刊行物の発刊・増刷 (資料—29.4.3, pp.26-37)
齊藤事務局より資料に基づき過去の販売状況および今後の売上げ見込みについて説明があり、各書籍ともに原案通り承認された。
 - ・コルゲートメタルカルパートマニュアル 増刷 200部
 - ・土質試験—基本と手引き— 増刷 8,000部
 - ・杭の鉛直載荷試験方法 増刷 300部
 - ・基準小冊子(過酸化水素水)新刊 100部 定価 1,600円(税別)*4月書面会議承認済み
 - 【理事会予備審議】(4) 翻訳出版『打戻し施工によるサンドコンパクションパイル工法設計・施工マニュアル (資料—29.4.4, pp.38-45)
仙頭基準部長より資料に基づき説明があり、審議の結果、理事会へ予備審議として上申することになった。なお、出版当時に協力を得た3社のうち2社より反対もしくは消極的な意見があり、残りの1社にも意思確認を行った上で理事会へ上申することになった。
 - (5) 「事業企画賞」候補案および審査員選出のお願い (資料—29.4.5, pp.46-48)
齊藤事務局より資料に基づき説明があり、候補があれば申し出るように要請があった。審査員は昨年に引き続き峯岸幹事が選出された。
 - (6) その他
特になし
3. 委員等の異動【理事会報告*】*招請委員は理事会審議
【理事会報告】(1) 室内試験規格・基準委員会
峯岸幹事より資料に基づき幹事交代の提案がなされ、原案通り承認された。
 - ①幹事交代
 - ・大向 直樹 氏(応用地質) → 吉田 敬 氏(応用地質)*9/22メール審議完了済
理由)業務上の都合【理事会報告】(2) 地盤調査規格・基準委員会
峯岸幹事より下記に基づき委員追加の提案がなされ、原案通り承認された。
 - ①委員追加
 - ・曾田 英揮 氏(独立行政法人 水資源機構 総合技術センター)(3) ISO国内委員会
特になし(4) 地盤設計・施工基準検討委員会
特になし(5) 表記法検討委員会
特になし(6) 技能試験実施委員会
特になし(7) 基準英訳化に関する実行委員会
特になし【理事会報告】(8) 部員の異動 交代
峯岸幹事より資料に基づき部員交代の提案がなされ、原案通り承認された。
部員 交代
 - ・大向 直樹 氏(応用地質) ⇒ 吉田 敬 氏(応用地質)*9/22メール審議完了済
理由)室内試験(委)幹事交代による。
4. ISO国内委員会 関係
 - (1) JIS原案作成公募制度への応募 (資料—29.4.16, p.151)

浅田部員より資料に基づき前回からの修正点等について説明があり、審議の結果、原案撮り承認された。

5. 地盤工学表記法委員会 関係

特になし

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

【理事会報告】 (1) JIS 規格素案審議【理事会報告】*公示の報告 (資料—29.4.6, pp.81-118)

仙頭基準部長より資料に基づき JIS 規格素案の公示案について説明がなされ、各部員で確認をして修正意見等ある場合は 11/13 までに基準部長に申し出ることになった。

JIS A 1217/JGS 0411 土の段階載荷による圧密試験方法 p.87-

JIS A 1218/JGS 0311 土の透水試験方法 p.101-

JIS A 1227/JGS 0412 土の定ひずみ速度載荷による圧密試験方法 p.109-

【理事会報告】 (2) 新規基準【理事会報告】*公示の報告

吉田部員より資料に基づき JGS 基準素案の公示について説明がなされ、JIS 用語との関連性について確認した後理事会へ上申することになった。各部員で確認をして修正意見等ある場合は 11/13 までに吉田部員に申し出ることになった。

新規基準「低透水材料の透水試験方法(案)」 (資料—29.4.7, pp.119-127)

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

(1) 「調査に用いる井戸理論式の整理及び解説」、「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」に関する講習会の開催(技術普及委員会への提案) (資料—29.4.8, pp.49-53)

武政部員より資料に基づき WG3 から発議の講習開催について説明があり、審議の結果、開催については承認することとした。ただし、開催時期については、年間の講習会開催スケジュールがすでに決まっているため、WG から技術普及委員会に確認をとり決定することになった。

【理事会審議】(2) 新規基準「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法(案)」 (資料—29.4.9, pp.128-142)

武政部員より資料に基づき説明があり、審議の結果、会員からの意見、名古屋大会での DS の意見などを踏まえて、理事会へ上申することになった。

【理事会審議】(3) 新規基準「水圧破砕法による初期地圧の測定方法(案)」 (資料—29.4.10, pp.143-150)

武政部員より資料に基づき説明があり、審議の結果、理事会へ上申することになった。なお、高松大会で DS 開催を希望しているとのことであった。また、セキュリティ対策により基準作成に用いる JIS 規格用のフォーマット(JSA 配布)をインストールできない企業があり、書式事例を配布するなど対応して欲しいとの要望があった。

(4) 現在審議中の新規基準案等における JIS 化中の地盤工学用語の反映について

武政部員より、現在作業中の新規基準案「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」、「水圧破砕法による初期地圧の測定方法」「Method for initial stress measurement by hydraulic fracturing technique」については、「地盤工学用語」の公示を待っての確定は困難であるため、地盤工学用語の引用を見送りとしたいとの提案があり、承認された。なお当該規格制定までスケジュールは、意見受付公告終了日(2017年12月14日)後、約3~6ヶ月で官報公示とのこと。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

【理事会報告】 (1) グラウンドアンカーWGの活動再開、JGS4101-2012の改訂検討 (資料—29.4.11, p. 54)

平井部員より資料に基づきグラウンドアンカーWGについて、前回改訂10年後を目途に改訂版を発行したいので活動を再開したい旨提案があり、審議の結果、活動再開が承認された。

9. 技能試験実施委員会 関係

特になし

10. 基準英訳化に関する実行委員会 関係

特になし

11. 基準部所管刊行物

特になし

12. その他

特になし

報告事項

1. 理事会(2017/9/29, 2017/10/27)開催報告

(資料—29.4.12, pp.55-65)

仙頭基準部長より資料に基づき、基準部関連事項について報告がなされた。

- ・電子化WGに基準部から堀越理事が参画することになった。
- ・山中理事の会務が、来年度の高松大会に向けて基準部担当から調査・研究担当に変更された。
- ・学会創立70周年記念事業委員会委員として海野部員が基準部からの派遣となった。
- ・その他報告事項として、技能試験活動検証・再評価WGの設置、杭の鉛直載荷試験基準改定WGの設立、JIS規格改正に関する議事、基準英訳化寄附金候補先リストを説明し寄付依頼への協力を要請したことなどが報告された。

2. 全体関係

特になし

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① JIS 原案作成公募制度への応募→審議事項へ

(資料—29.4.16, p.151)

② ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

浅田部員より下記表に基づき、報告がなされた。

・2017 年度予定

(相手先)	(金額)	
	助成	受託
・三菱総合研究所/経産省 (TC182 広域地盤モデル WG)	-	※380 万円
・三菱総合研究所/経産省 (TC190/SC3/WG10 運営 WG)	-	760 万円
小計	-	1,140 万円
合計		1,140 万円

※防災科研と共同提案。防災科研分 約 538 万円、JGS 分 約 457 万円。

→10 月に予定していた国際会議の中止などによる減額申請を行い、JGS 分 約 380 万円

【理事会報告】③ 国際会議派遣

(資料—29.4.13, p.66)

浅田部員より資料に基づき、報告がなされた。

(2) 地盤工学表記法委員会

特になし

(3) 室内試験規格・基準委員会

特になし

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① 第3 回議事録について

武政部員より下記のとおり報告がなされた。

- ・誤字：第2 回基準部議事録2 ページ下から2 行目 WG4→WG 2
- ・誤字：第3 回基準部議事録4 ページ(9) 電子化議事 WEG→WEB

② 地盤工学会の基準書についての問い合わせフォームについて

(資料—29.4.14, p.67)

武政部員より資料に基づき報告がなされた。

PDF 等のファイル添付が可能なフォームの方が質問と回答がスムーズであるとの提案があった。

→現状の学会 web システムでは支出を伴う改良であるため、担当部会(総務部会 or 広報委員会)へ対応の打診することになった。

③ 会員からの質問と回答(8 事例)

(資料—29.4.15, pp.68-80)

武政部員より資料に基づき、報告がなされた。

- ・載荷試験については、試験方法ではなく試験結果の整理に関する問合せが多い。
- ・青本だけで完結できない内容は、次回見直すべきではないか。
- ・旧版からの質問者に対しては、最新版の購入を促してもよいのではないか。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし

(6) 技能試験実施委員会

活動検証・再評価 WG 報告

(資料—29.4.17, pp.-152-153)

仙頭基準部長より資料に基づき、報告がなされた。

(8) ウェブページ

特になし

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会

特になし

5. 審議中の規格・基準

峯岸幹事より下記表に基づき、審議中の規格・基準について進捗状況の報告がなされた。

基準名	担当		承認 (提出)					検 討 結 果	一 覧 *	刊 行
	委 員 会	W G	部 会	理 事 会 報 告	公 示	部 会 (公 示 後 案)	理 事 会 [承 認]			
地下水面上の地盤を対象とした透水試験方法基準	調 査	10	2015 11/5	2015 11/24	2016 2 月号	2017 11/6		(HP)		
過酸化水素水による土及び岩石の酸性化可能性試験方法	室 内	4			2015 11・12 月号	2017 11/6	2016 3/15	2016 5 月号	済	
水圧破碎法による初期地圧の測定方法	調 査	3	2016 1/7	2016 1/26	2016 4 月号					
低透水材料の透水試験方法	室 内	9	2017 11/6							

JIS 規格素案 (改正 7 件) 1202-1204,1216,1225,1226	室内	1	2017/7/4	2017/7/28	2017 10月号					赤本 2019 予定
JIS 規格素案 (改正 7 件) 1205,1209,1223,1224,1210,1211,1228	室内		2017/9/7							赤本 2019 予定
JIS 規格素案 (改正 3 件) 1217, 1218, 1227	室内	3	2017 11/6							赤本 2019 予定

*地盤工学会ウェブサイト 「基準一覧」への掲載

6. 日本工業規格 (JIS)

峯岸幹事より下記表に基づき、JIS 規格案の進捗状況について報告がなされた。

規格名	担当				刊行
	委員会	WG	JSA 提出	申出完了連絡	
地盤工学用語	表記法	-		2017 9/1	
動的コーン貫入試験方法	調査	11		2017 9/1	

7. 部会・委員会・WG 開催状況

峯岸幹事より下記表に基づき、部会、委員会、WG 等の活動状況について報告がなされた。

委員会・WG 数: 常設委員会 6、常設委員会の WG:34 (内、受託:2)、JSA 公募原案作成:3、その他:1 計: 44

委員会名	長		委員会開催日、 <u>下線</u> は開催予定
基準部会	仙頭 紀明	3	4/20(書面), 7/4, 9/7, 11/6
ISO 国内委員会	浅田 素之	1	8/31
・ WG1: TC182 国内専門委員会 ・ 広域地盤特性評価法 WG (受託) ・ WG2: TC190 国内専門委員会 ・ TC190/SC3/WG10 対応 WG (受託) ・ WG3: TC221 国内専門委員会	木幡 行宏 宮田 喜壽 川端 淳一 坂井 宏行 椋木 俊文	7	<u>12/8</u> 4/21, 5/17, 6/7, 7/20, 8/22, 8/30, 10/6
室内試験規格・基準委員会	豊田 浩史		
・ WG1 物理特性 ・ WG2 化学特性 ・ WG3 透水・圧密特性 ・ WG4 力学特性 ・ WG5 安定化・締固め特性 ・ WG6 ジオシンセティックス ・ JIS 原案作成委員会 (ジオシンセティックス用語) ・ WG7 特殊土の試験 ・ WG8 赤本改訂版の総説執筆 ・ WG9 低透水性土質材料の透水試験方法基準化 ・ WG10 「土質試験 基本と手引き」改訂	杉井 俊夫 肴倉 宏史 渡部 要一 澁谷 啓 横田 聖哉 木幡 行宏 木幡 行宏 風間 基樹 豊田 浩史 西垣 誠 大島 昭彦	2 2 3 1	4/28, 8/3 <u>10/16</u> 7/19, 8/10, <u>12/15</u> 5/16, 8/8, 9/22 5/26,
地盤調査規格・基準委員会	末政 直晃	2	5/12, 10/6
・ WG1 物理探査・検層 ・ WG2 ボーリング・サンプリング ・ WG3 地下水 ・ WG4 サウンディング ・ WG5 載荷試験 ・ WG6 現場密度試験 ・ WG7 現地計測 ・ WG8 環境化学分析のためのサンプリング ・ WG9 地盤調査の計画、資料調査・地質調査 ・ WG10 地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法基準化 WG ・ WG11 動的コーン貫入試験方法 JIS 規格化 WG ・ JIS 原案作成委員会 (動的コーン貫入試験方法) ・ WG13 水圧破壊による初期地圧測定法の基準化検討 WG ・ WG15 岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化検討 WG	斎藤 秀樹 正垣 孝晴 進士 喜英 大島 昭彦 大島 昭彦 三嶋 信雄 上野 将司 江種 伸之 長田 昌彦 西垣 誠 大島 昭彦 末政 直晃 伊藤 高敏 谷 和夫	1 1 1	<u>11/17</u> 7/6 [2017 年 7 月解散・基準理事会承認までの活動は WG3 に引き継ぎ] 5/12, 5/10 5/18, <u>11/9</u>
地盤設計・施工基準委員会	木幡 行宏		
・ WG1 土構造物	本城 勇介		

<ul style="list-style-type: none"> ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土 ・WG6 杭の鉛直載荷試験方法の改定検討 	中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫 菊池 喜昭	2	7/27 (打合せ), 10/30, <u>12/22</u>
地盤工学表記法委員会 ・ JIS 原案作成委員会 (地盤工学表記法)	大島 昭彦 大島 昭彦	3	4/7, 5/19, 6/7,
技能試験実施委員会 ・ 活動検証・再評価 WG	日置 和昭 仙頭 紀明	1	10/27, <u>12/4</u>
基準英訳化に関する実行委員会	竹下 祐二	3	4/20 (書面), 7/4, 9/7

7. その他

(1) 理事会 (11月24日 (金)) への審議事項・報告事項

・審議 3.委員等の異動、報告: JIS規格改正素案・地盤工学会基準の公示報告

(2) 総務部会 (平成 29 年 11 月 14 日 (火) 開催予定) への提案事項

(3) 次回以降の部会開催日

・平成 29 年度 (2017 年度) 第 5 回: 第 1 案 平成 30 年 [2018 年] 1 月 15 日 (月) 14:30~17:00

(対応理事会 or 書面)

★ 平成 29 年度 理事会 開催日程 (予定含む)

① 4 月 21 日 (金) ※書面審議

② 5 月 19 日 (金)

★ 6 月 9 日 (金) 総会/理事会

③ 6 月 16 日 (金) ※書面審議

④ 7 月 28 日 (金)

⑤ 9 月 29 日 (金)

⑥ 10 月 27 日 (金) ※書面審議

⑦ 11 月 24 日 (金)

⑧ 12 月 22 日 (金) ※書面審議

⑨ 1 月 26 日 (金)

⑩ 2 月 23 日 (金) ※書面審議

⑪ 3 月 16 日 (金)

 ⑫ 4 月 20 日 (金) ※書面審議

⑬ 5 月 18 日 (金)

★ 6 月 6 日 (水) 総会/理事会

以上